

令和8年度第1回シカ管理検討協議会 会議録

令和8年6月16日（火）開催

【事務局】 1 開会

【事務局】 2 あいさつ

【事務局】 3 議題

(1) 令和7年度シカ管理対策の実施状況について（報告）

(2) 令和8年度シカ管理対策について（協議）

(3) 第7次シカ管理計画の策定について（協議）

(4) その他

【事務局】

（資料1により説明）

【青井会長】

それではただいまの事務局からの説明につきまして、ご質問ご意見等あれば、よろしくお願いいたします。

【皆川構成員】

3ページのシカ肉の放射性物質の検査の実施について、令和7年度は検出数が0となっている。岩手県では、出荷規制がかかっているが、我々狩猟者からすれば、肉は食べてこそである。積極的な解除について、対応をお願いしたい。

【青井会長】

私からも似たような質問ですが、どうすれば出荷規制は解除できるのですか。

【事務局】

放射性物質に汚染された野生鳥獣肉の数については、国の原子力災害対策本部の方から基準が示されているところであり、原則として、県単位での解除となっているため、1か月内で、各市町村3検体ずつの計99検体を一斉に全頭検査して、そのすべてが基準値を下回っていれば、全県の解除の検討段階に入るという形になっております。

【青井会長】

1か月で99検体はすごく厳しいですね。

【事務局】

基準につきましては、担当者から説明させていただきましたが、放射性物質検査による解除の緩和につきましては、1か月で数十検体調べなければいけないことや、野生動物の移動性による測定が困難な点からも、非常に厳しい規制となっていることから、本年度の政府予算要望にて、基準の緩和等について、要望しているところです。

実施できるとすれば、県の指定管理鳥獣捕獲等事業の中で実施することになるのではないかと担当レベルでは感じています。時期や方向性については、今後検討していきたいと考えております。

【青井会長】

その方向でぜひ頑張っていたきたいなと思います。そのほかにございませんでしょうか。

【高橋構成員】

シカ捕獲数が大幅に伸びたということで、関係者の御尽力に敬意を表します。しかし、指定管理鳥獣捕獲等事業について、捕獲数が上限に達したため、それ以上は捕獲できなかったのは、もったいないと思います。捕獲のしやすさについては、天候や波で左右される。今年はかなり捕獲されたが、県全体で見るとまだ密度が高い状況ですので、捕獲できるだけ捕獲するというスタンスが今後は必要かと思います。

【事務局】

事務局としましても、指定管理鳥獣捕獲等事業内で捕獲したいという思いは非常にあるところですが、行政の財政措置等の都合もございまして、昨年度の予算については、上限に達してしまったということです。そちらについては今後、検討してまいります。

【宇野構成員】

林業被害の中で、シイタケの被害がある市町村はどこなのでしょう。

【泉構成員】

シイタケの被害は山田町、洋野町、野田村となっております。

シカは角でシイタケをひっくり返す、食べる、樹皮をかじる等、非常に多大な被害が見られるという状態です。大地震が来たのではないと思うくらい荒らされます。

【宇野構成員】

イノシシではなく、シカということでしょうか。

【泉構成員】

そのとおりです。

【宇野構成員】

シイタケの被害も増えており、林木の被害も減っていない状態で農業被害は横ばいという中で、32,000 頭と相当な捕獲圧をかけても、正直、顕著に結果に結びついていないような印象を受けます。今回捕獲圧がかかっているメッシュでは農林業被害が減っている、植生が回復している等のデータはあるのでしょうか。

【事務局】

植生・農業被害ともに横ばいとなっており、評価のためにも継続して調査していく必要があると考えております。

【櫻田構成員】

シカの農業被害については、市町村別にみると、捕獲、侵入防止柵の設置の両方を積極的に取り組んでいる市町村については、減少傾向にあるとみています。しかし、市町村をもっと細かく見なければわからないこともありますし、R7 の農業被害との比較もしながら検討していかなければいけないと考えております。

【青井会長】

ありがとうございます。他に何か質問はありますでしょうか。

ないようですので、議題「(2) 令和8年度シカ管理対策(案)について」へ移りたいと思います。

【事務局】

(資料2により説明)

【青井会長】

それでは、議題2につきましてご意見ご質問等あれば、よろしくお願いいたします。

【皆川構成員】

4ページの個体数推計について、猟友会としては、シカは捕獲しても減ったように感じていない。先程、高橋構成員がおっしゃったように自然の変化で捕獲できなくなる時期もあるかと思う。県も同様の認識で安心した。捕獲頭数を増やすためにも猟友会としてできるだけ協力したいと思っているので、よろしくお願いいたします。

【宇野構成員】

確認ですが、次の2回目の協議会で個体数推計を出し、議論するという認識でよろしいでしょうか。

【事務局】

そのとおりです。

【青井会長】

他に質問はありますでしょうか。

特にないようですので、議題(2)の「令和8年度シカ管理対策(案)」につきましては、事務局案のとおり、でよろしいでしょうか。

異議なしと認められますので、可決したいと思います。

次に協議事項である議題(3)「第7次シカ管理計画の方向性について」に移りたいと思いますが、意向は非開示の内容を含みますので、傍聴者はご退出をお願いいたします。

【事務局】

(資料3により説明)

【青井会長】

その他御意見等がありますでしょうか。

無いようですので、これで議事を終了します。

御協力ありがとうございました。

【事務局】

青井会長、大変ありがとうございました。

これをもちまして、令和8年度第1回シカ管理検討協議会を終了いたします。

本日は大変ありがとうございました。